

神楽名

黒仁田神楽

伝承地

黒仁田地区
高千穂町大字向山

指定等

国指定重要無形民俗文化財

伝承団体

黒仁田神楽保存会
代表 飯干 憲二



舞開き

◆ 神楽の概要・由来・その他

黒仁田と日之影町大人・諸塚村桂は古くから互いに交流があり、3つの神楽には類似する演目が多々ある。高千穂町の他地区と違い、テンポの速い激しい舞が特徴である。昭和初期に三田井系の神楽を数番取り入れているため、近隣の尾狩神楽との違いもみられる。

江戸時代と大正時代に大火があり古い記録等が消失したが、「稲荷」「若宮」「荒神」の神楽面は別の場所に保管されていたため難を逃れた。御神屋を飾る彫り物に、十二支、神社名、家紋、火の用心がみられる。

夜神楽は、弁財天及びイワナガ姫を祭祀する柘ノ瀧神社の例祭に奉納されるが、集落の氏神社は黒仁田神社である。黒仁田神社は「日向国高千穂庄神社佛閣神體佛像改控」には「若宮 黒仁田」とあり、夜神楽当日には黒仁田神社の「若宮面」を上輿（夜神楽用の神輿）に移し、柘ノ瀧神社での神事の後に「弁財天面」を同じく上輿に移し、両面を御霊代として神楽宿への舞込を行っている。

◆ 芸能の機会・場所

- 黒仁田夜神楽... 1月の最終土・日曜、黒仁田公民館にて奉納

◆ 演目一覧

神事(御神屋にて)

彦舞

神嵐

八鉢

田植神楽

注連口

戸取り

神迎え(宮神楽)

鎮守

若宮

住吉

武智

柴引

舞開き

道行き

東西

地固

稲荷

山森

鈿女

雲下

舞込み

辨財天

荒神

岩潜

弓正護

手力雄

御神屋

杉登

大神

五天皇

沖逢

伊勢神楽

※平成26年1月の奉納奉納の番付に基づく

◆ 演目の特徴

「舞開き」での天照大神役の子供の登場や「御神屋」で唱えられる「森の唱教」等、日之影町大人神楽との共通点が見られる。「田植神楽」は尾狩・黒仁田地区の特有の演目で、着面した牛が登場し暴れる「鋤入れ」、田植えから刈り取りまでの「畦塗り」、その他「早乙女」「杵舞」「箕舞」など豊作を祈る舞が奉納される。

柘ノ滝神社の氏神の舞である「辨財天」や黒仁田神社の氏神の舞である「若宮」は、この地区独自の演目である。また素面の演目「地固」「岩潜」等の途中に、座張が登場し、鉦が激しく叩かれる中でのアクロバティックな舞が特徴である。

◆ その他の特徴

- 面... 稲荷、荒神、若宮の面の他に、昭和初期に購入した、猿田彦、天照大神、若宮、手力雄の面がある
- 楽... 横笛、締め太鼓、ガタ板、鉦
- 装束... 白衣、白袴、素襖(綿・麻)、千早、裁着袴、毛笠、烏帽子、天冠 等
- 採り物... 鈴、榊、扇、御幣、杖(荒神杖等)、弓、矢、刀、櫛、鋤、箕 等
- 文書... 昭和3年の「神楽番附歌速見簿」の他、昭和8年1月に書き写された三田井地区の神楽の資料「高千穂神楽」が保管されている

◆ 伝承の現状・課題

村役目など祭りの準備をする人材や、神楽の舞い手(祝子者)の不足が懸念される。高齢化や地区民の減少により、小中学生が減ったことも一つの要因と考えられる。



若宮



岩潜



田植神楽